



三寶寺寺報 第一八三号
 二〇〇三年十月一日発行
 発行人 目崎 薫(三寶寺住職)
 伊勢原市沼目三 十二 二
 TEL 0463 933 323
 FAX 0463 933 545
 購読料 年三〇〇〇円(年・送料込)
 郵便振替口座 一〇二〇〇〇六一〇五八五三一
 〒259-1126



釈尊の誕生

約2500年前、ヒマラヤの南麓を領していたシャカ族のストードグナ王(浄飯王)の長子としてルンビニー園でお生まれになりました。王の都はネパール国境近くのカピラヴァストゥにありました。

ルンビニー 釈迦の誕生地

水田の稲がだいぶ育っている。
 「私のはあのくらいでしようか」
 「もつす」先に打っているでしよう
 この稲の若い茎の中に、

やがて花果にあらわれ
 てくる命のツボミがひ
 そんでいる。

種がカラを破って芽を
 出す。

目的は、花・果をあら
 わす種のいのちである。

芽を出し、茎を伸ばし、
 枝葉をしげらせて、果

実自然が目標である。

法にあえん、一念喜愛

のツボミから、信から証への開花は、

果報、人間の花である。

だから「花果」という常識的な言葉
 より、「果花」としたらどうだろう。

稲津紀三著『大信海』28号より抜粋

慈雨

瓦礫にポツンと

花が咲く

ポツと雨が落ちてきた

幾度も

花は頭をこげつづけた

雨・雨よ

葉 果実を洗ぬよ

実のり化り季節

八尾宗子

三寶寺掲示板 十月

わたしが

さびしいときに

ほとけさまは

さびしいの

When I feel lonely,
the Buddha is
lonely.